

よみとりとよむ

12 「真の王さま」

今回のおはなし

とんぼ池には、いろいろな、とんぼがいます。ぼくが、ギンヤンマを見つけると、ひなこはわらって、くるくる、回りました。

そのとき、ふっと、あたりがくらくく、なっ

見上げると、高い、空に、ひこうきみたいなたでつかい、とんぼが、うかんで、いた。

(王さまだ！ オニヤンマだ！)

ぼくが、心の、中で、さげんだ、とき、

「王さまだ！ オニヤンマ！」

同じ、ことを、ひなこが、言った。

ぼくは、あみを、つかんで、とんだ。

ぶん、と、ヘリコプターのような、音が、うでに、つたわり、いっしゅん、体が、うかんだ気がした。

あみの、中に、王さま

が、いた。

みどり色の、大きな

目を、びかびか、光らせ、

ぼくを、見て、いた。

とらみだいに、りっぱな、かたを、いからせて、黒い、足を、がさっと、一回、うごかした。

「……大きいね、鳥みたいに、大きいね。」

ひとり言みたいに、ひなこが、言った。

「きれいだねえ、たからものみたいに、りっぱだね。」



おうちのかたへ 今回のおはなしを、登場人物の心情を考えて読む。描写された事柄から事物の様子を想像する。

月 日

1 上の、文しよを、声に出して、読みましよう。

2 は、ぼくが、心の、中で、さげんだことばです。どのように、読むと、よいか考えて、声に出して、読みましよう。

3 と、ありますが、オニヤンマをかまえた、しゅんかん、ぼくは、どのようにかんじましたか。

いっしゅん、体がうかんだ気がした。

4 ひなこは、つかまえた、オニヤンマの、大きさを、どのように、かんじましたか。

鳥みたいに大きい。

5 ぼくや、ひなこが、見た、オニヤンマの、絵を、紙に、かいて、みましよう。

はげましスタンプ

今回の学習のねらい

- 登場人物の心情を考えて読む。描写された事柄から事物の様子を想像する。

支援のポイント

- 2 「どんな気持ちで読むといいかな？」あるいは「とんぼの王さまを見つけたとき、〇〇ちゃんならどんな気持ちになるかな。」などと語りかけ、「ひこうきみたいなたでつかい、とんぼ」を見つけた感動を表現するのふさわしい読み方を考えてもらいましょう。「心の中で」叫んだという記述から、声を殺すように読んでもよいでしょう。

ほめ方のポイント

- 2 音読の学習では、すすんで工夫して読もうとする態度をまず評価してあげてください。ここでは「王さま」を見つけた喜び、あるいは驚きなどを声で表現することになりますが、「ぼく」の気持ちを、お子さまなりに工夫して読んでいると認められれば、「ぼく」の気持ちを、考えて、上手に読めたね。「王さまを見つけた、ぼく」の気持ちがよくわかる読み方だったよ。」といった言葉でほめてあげましょう。

- 5 文章から得たイメージを、絵で表すことが目的なので、リアルさにこだわらなくてもいいです。問題文には色の記述がありますが、どこが何色なのか、がわかっていようなら、単色でもかまいません。

- また、例えば「とらみだいにりっぱな、かた」を描くために肩を極端に大きくしたり、「たからものみたいに」星を散りばめたりするとうように、子どもは印象に残ったことを強調して描く傾向があります。どうしてそのよいうな絵にしたのか、理由を説明してもらったうえで、お子さま自身のイメージを、絵で表現できたことを大いにほめてあげましょう。

お手元に紙を用意してから取り組んでください。